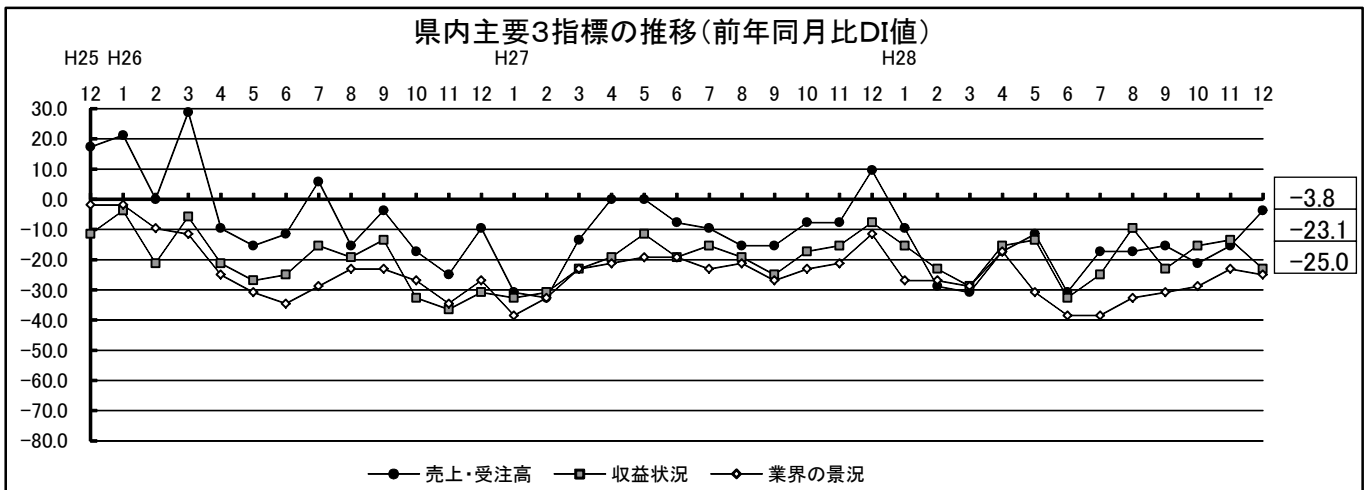


# 中小企業団体情報連絡員報告結果(平成28年12月分)

栃木県中小企業団体中央会

この報告結果は、栃木県中央会において設置している中小企業団体情報連絡員（中小企業組合（協同組合、商工組合等）の役職員52名に委嘱）による、所属組合の組合員企業の全体的な景況です。

- 12月の前年同月比DI値は、前月の前年同月比DI値と比べて、9指標中「売上高」「取引条件」「雇用人員」の3指標が上昇し、「在庫数量」「販売価格」「収益状況」「設備操業度」「業界の景況」の5指標が下降した。
- 主要3指標は、「売上高」が前月より11.6ポイント上昇の-3.8ポイント、「収益状況」が9.6ポイント下降の-23.1ポイント、「業界の景況」が1.9ポイント下降の-25.0ポイントであった。
- 例年に比べて年末年始の需要が伸びず、苦しいやりくりを強いられたという声が多く業界で聞かれた。特に「在庫数量」「収益状況」の下落が大きく、収益の減少によって在庫や人員を増やせず、さらなる機会損失に陥るといった悪循環が見られる。



主要3項目	県内		全国	
	DI値	前月比	DI値	前月比
売上・受注高	-3.8	+11.6	-11.2	+4.3
収益状況	-23.1	-9.6	-18.3	+3.3
業界の景況	-25.0	-1.9	-22.9	+3.2

## 売上・受注高

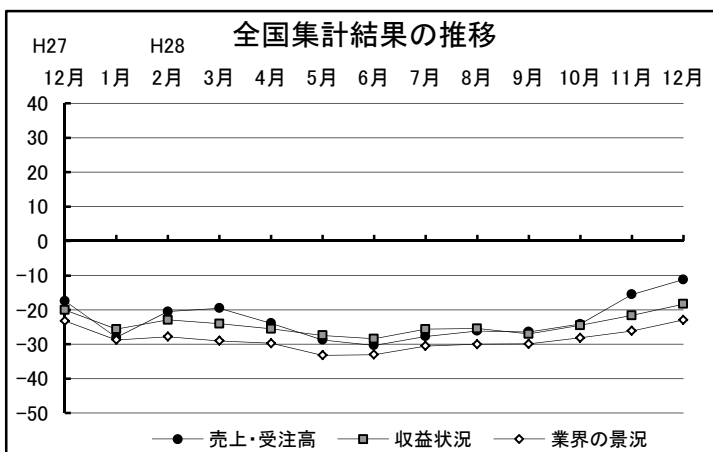
当月の県内売上・受注高DI値は、前月より11.6ポイント上昇の-3.8ポイントとなった。全国においては、前月より4.3ポイント上昇の-11.2ポイントとなった。

## 収益状況

当月の県内収益状況DI値は、前月より9.6ポイント下降の-23.1ポイントとなった。全国においては、前月より3.3ポイント上昇の-18.3ポイントとなった。

## 業界の景況

当月の県内業界の景況DI値は、前月より1.9ポイント下降の-25.0ポイントとなった。全国においては、前月より3.2ポイント上昇の-22.9ポイントとなった。



## -概況-

12月の前年同月比DI値は、前月の前年同月比DI値と比べて、9指標中「売上」「条件」「雇用」の3指標が上昇し、「在庫」「価格」「収益」「設備」「景況」の5指標が低下した。主要3指標は、「売上」が前月より11.6ポイント上昇の-3.8ポイント、「収益」が9.6ポイント下降の-23.1ポイント、「業界の景況」が前月より1.9ポイント下降の-25.0ポイントであった。多くの指標が悪化する中、特に「在庫」「収益」は5ポイントを超える数値の下落が見られ、昨年6月以降徐々に回復傾向を見せていた景況が再び停滞の兆しを見せている。

業種別の状況を見ると、図表4のとおり、「売上」は製造業で7業種中3業種が上昇、2業種が下降し、非製造業で6業種中4業種が上昇、1業種が下降した。「収益」は製造業で1業種が上昇、2業種が下降し、非製造業で1業種が上昇、3業種が下降した。「景況」は非製造業で1業種が上昇、2業種が下降した。

円安による輸入原料、燃料価格の急騰が生じたことにより、製造業（輸出関連）と非製造業（輸入加工・販売）で景況感の明暗が分かれた。国内市場においては、年末需要及び生鮮食品の高騰が売上高を押し上げたが、人件費等の経営コストなどが中小企業を圧迫し、繁忙期の供給力低下につながっている。

図表1～【業種別・指標別動向一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	○	△	△	△	△	△	△	△	△
繊維・同製品	×	△	△	△	△	△	△	△	△
木材・木製品	△	×	△	△	×	△	△	△	△
印刷	△	△	△	△	△	△	△	△	△
窯業・土石	△	△	△	△	△	△	△	△	△
鉄鋼・金属	△	△	△	△	△	△	△	△	△
一般機器	×	△	△	△	×	△	△	△	△
卸売業	△	△	△	△	△	△	—	△	×
小売業	△	△	△	△	△	△	—	△	×
サービス業	△	—	△	△	△	△	—	△	△
建設業	△	—	△	△	△	△	—	△	△
運輸業	×	—	△	△	×	△	—	△	△
その他	○	—	△	△	△	△	—	△	△

○ 増加・上昇・好転  
(DI値 +40ポイント以上)

△ 不変

× 減少・低下・悪化  
(DI値 -40ポイント以下)

図表2～【業種別・指標別DI値一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-25.0
繊維・同製品	-50.0	-25.0	-25.0	0.0	-25.0	-25.0	-25.0	0.0	-25.0
木材・木製品	-25.0	-50.0	-25.0	0.0	-50.0	-25.0	-25.0	-25.0	-25.0
印刷	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
窯業・土石	0.0	-25.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
鉄鋼・金属	25.0	-25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一般機器	-50.0	0.0	0.0	0.0	-50.0	0.0	0.0	0.0	-25.0
製造業	-8.0	-20.0	-8.0	0.0	-24.0	-8.0	-8.0	-4.0	-16.0
卸売業	33.3	-33.3	0.0	0.0	-33.3	0.0		0.0	-66.7
小売業	-14.3	-28.6	14.3	-14.3	-14.3	-14.3		0.0	-42.9
サービス業	16.7		16.7	-16.7	-16.7	0.0		-16.7	-33.3
建設業	0.0		0.0	0.0	-20.0	0.0		0.0	-20.0
運輸業	-50.0		0.0	0.0	-50.0	0.0		0.0	-25.0
その他	50.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
非製造業	0.0	-30.0	7.4	-7.4	-22.2	-3.7		-3.7	-33.3
全体	-3.8	-22.9	0.0	-3.8	-23.1	-5.8	-8.0	-3.8	-25.0

図表3～【指標別DI値の推移】

	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	前月比
売上高	9.6	-9.6	-28.8	-30.8	-17.3	-11.5	-30.8	-17.3	-17.3	-15.4	-21.2	-15.4	-3.8	11.6
在庫数量	-2.9	2.9	0.0	-5.7	-8.6	-5.7	-11.4	-22.9	-22.9	-31.4	-28.6	-14.3	-22.9	-8.6
販売価格	7.7	3.8	1.9	-1.9	3.8	-3.8	-7.7	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	0.0	-1.9
取引条件	-1.9	-3.8	-7.7	-7.7	-3.8	0.0	-7.7	-5.8	-7.7	-9.6	-1.9	-5.8	-3.8	2.0
収益状況	-7.7	-15.4	-23.1	-28.8	-15.4	-13.5	-32.7	-25.0	-9.6	-23.1	-15.4	-13.5	-23.1	-9.6
資金繰り	-9.6	-5.8	-5.8	-11.5	-9.6	0.0	-11.5	-9.6	-5.8	-7.7	-9.6	-5.8	-5.8	0.0
設備操業度	-16.0	-8.0	-16.0	-24.0	-20.0	-24.0	-16.0	-28.0	-16.0	-16.0	-8.0	-4.0	-8.0	-4.0
雇用人員	-1.9	-3.8	-5.8	-1.9	1.9	3.8	3.8	-1.9	0.0	0.0	0.0	-5.8	-3.8	2.0
業界の景況	-11.5	-26.9	-26.9	-28.8	-17.3	-30.8	-38.5	-38.5	-32.7	-30.8	-28.8	-23.1	-25.0	-1.9

図表4～【前月DI値差】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	50.0	-25.0	0.0	0.0	25.0	25.0	-25.0	25.0	0.0
繊維・同製品	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	-25.0	0.0	0.0
木材・木製品	50.0	-25.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	-25.0	-25.0	0.0
印刷	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
窯業・土石	25.0	-25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0
鉄鋼・金属	-25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一般機器	-25.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	25.0	0.0	0.0
製造業	12.0	-12.0	0.0	0.0	-4.0	0.0	-4.0	0.0	0.0
卸売業	0.0	0.0	0.0	0.0	-33.3	0.0		0.0	0.0
小売業	28.6	0.0	-28.6	0.0	14.3	0.0		0.0	28.6
サービス業	16.7		16.7	0.0	-33.3	0.0		16.7	-33.3
建設業	20.0		0.0	20.0	0.0	0.0		0.0	0.0
運輸業	-50.0		0.0	0.0	-50.0	0.0		0.0	-25.0
その他	50.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
非製造業	11.1	0.0	-3.7	3.7	-14.8	0.0		3.7	-3.7
全体	11.6	-8.6	-1.9	2.0	-9.6	0.0	-4.0	2.0	-1.9

## 特記事項

情報連絡員報告（平成28年12月分）

所属組合	特記事項
味そ製造業	味噌関連商品により、売上高は引き続き増加している。甘酒が好調で品薄状態となっている。
酒類製造業	いよいよ寒造りの季節に入る。大吟醸の仕込みが最盛期を迎え、活気にあふれている。米も豊作で、今年も良いお酒になる。
染色整理業	業界全体として特段の変化なし。
外衣・シャツ製造業	今年は例年になくカットソーの仕事が異常に少ない。春・夏物に期待。
一般製材業	例年年末は忙しい状況になるのだが、前月同様、仕事の量そのものは前年に比べて少ない。 また、決まっている物件も先延ばしになったりと、調整がうまくいっていないのが現状である。
建具製造業	組合員により、年末の繁忙度合いはかなり違った様子。受注好調は一部の企業のみで、みな年度末需要に期待している。
木材・木製品製造業	12月～2月は季節的にも毎年動きが少ない。3月以降に期待している。
印刷業	ニーズの変化、需要の縮小、過当競争、低価格など厳しい経営環境に変わりはない。年度末に3社の脱退が決まり、組合員減少に歯止めがかからない。
石灰製造業	鳥インフルエンザに関連した消石灰の出荷が増加している。
金属製品製造業	<ul style="list-style-type: none"> <li>自動車関連部品…富士重工の下請け企業の生産は引き続き好調であり、また、人手不足の状況も変わらない。富士重工以外にも、日産、ホンダは中国などの売り上げが好調で下請けの生産も増加傾向である。</li> <li>建設機械関連…変化なく厳しい状況。</li> <li>自動車金型企業等…熟練者が不足しており、各社とも人材育成中である。今後も技能実習生や派遣労働者の確保が必要な企業が多い。</li> </ul>
一般機械器具製造業	本年1月の報告は、前年同月と比較して、一部の企業と売上高を除いて全体的に不変という結果になった。売上高も全体的にやや減少傾向を示しているが、企業全般に対する懸念にはなっていない。今後の業界の景気状況を注視していきたいと考えている。
一般機械器具製造業	年末の駆け込みにより、受注量は先月より増したが、収益増までは至っていない。来年も厳しい状況に変わりがないとみている。
一般機械器具製造業	年末・年始に対する駆け込み需要がほとんどなくなってしまい、景気の高揚感などは感じられなくなってしまった。
各種商品卸売業	<ul style="list-style-type: none"> <li>文具紙製品卸…官公署からの受注増もあって、売上高40%増（前年対比）となった。次期以降もこの水準を維持できるよう努めたい。</li> <li>紙製品卸…11月に県内中堅印刷会社が10億円近くもの負債を抱えて倒産し、複数の納入業者で売掛金が回収困難になってしまった。省資源の要請からペーパーレスの時代へと進んでおり、紙需要は連年減少傾向。紙業界は厳しい状況下にある。</li> </ul>
食肉小売業	12月中旬までお客様の流れが悪く、20日過ぎから動きが出てきたが、一般的に売れ筋の商品のみの動きであった。

各種商品小売業	11月からの低迷した商環境は、そのまま暮れまで続いた様子。クリスマス商戦も盛り上がりには欠け、通常時と変わらない状況の日もあった12月だった。
各種商品小売業	月初に開催された誕生祭の売り出しにおいて、好調なスタートを切ることができたが、今年度は23～25日が三連休という曜日並びにより、逆に集客に苦戦した。結果として前年にわずかに届かず、若干ながらも前年を割る数字が続いてしまっている。平成29年は「変化」という言葉を念頭に、周りの環境に対応し、改善に取り組んでいきたい。
花・植木小売業	クリスマス、年末商戦を前にして、菊類をはじめストック、スナップ、かすみ草、トルコキキョウ、バラなど多くの商材で品薄感が強くなり、単価高傾向となった。松、千両も前年比で2割程度の入荷減となり、近年にない高値での取引となった。クリスマス需要は年々落ち込みが見られる。年末は好天に恵まれたが、花の動きは鈍かった。
理容業	年末時ということで、来客数は前月と比較すると増加し、その結果として収益も上昇している。ただ、時節による一時的な利益であるため、収益上昇が今後継続する可能性はあまり高くはないと考えられる。
自動車整備業	例年に比べ、慌ただしさが少なかったように感じる。売上高の減少が続いている。
ビルメンテナンス業	駐車場舗装工事など外注の仕事が増えたものの、収益性は低く、全体として減益になった。累計では前年並みの状況。
給食センター	平成28年3月末で不採算部門は撤退したが、平成28年4月より弁当の価格値上げと新規の得意先があり、売上高は前年同月比で増加となった。食材・燃料・水道光熱費の価格が下がっていることや、新調理法で製造したシニア向け弁当の拡販等コストダウンにより、収益は改善されると思われる。
旅館・ホテル	12月の宿泊者数は、前年同月比で約6割の宿が下回った。なお、年末年始も地震や雪不足のためか、満室にならない宿が多く見られた。また1月7・8・9日と連休があるが、最近では宿泊者が分散する傾向がある。
内装工事業	栃木県室内装飾事業協同組合の防災ラベル支給枚数から見ると、前年同月比カーテン用ラベルは2%減、敷物用ラベルは209%増、壁装用ラベルは31%減であった。本年4～12月累計では、前年比カーテン用ラベル57%減、敷物用ラベル27%減、壁装用ラベル40%減であった。ラベル支給（売上）金額前年同月比9%減、平成28年4月～12月累計では48%減であり、相変わらずラベルの支給は減少している。
一般貨物自動車運送業	年末繁忙期であり、荷物情報はやや増加傾向を示し、収益など若干好転した。一方、高速道路利用料金車両単位割引率の10%拡充措置が、平成29年1月1日よりETC2.0搭載車両に限り適用になることから、従来型ETC1.0から変更するための経費負担が増加している。相変わらずのドライバー不足に加え、燃料価格も上昇に転じ、厳しい経営環境である。
貨物軽自動車運送業	12月初旬の荷動きは思いのほか鈍く、中旬以降から多少活発化したものの、昨年の暮れに比べると全般的に低調に推移し、一進一退の状況下にある。年明けの経済状況が気になる!! 相変わらず人手不足と高齢化が深刻化している。
一般乗用旅客自動車運送業	週末夜間には代行車等の不足があり、お客様がタクシーを待つ状況が散見された。
大谷石採石業	前年同月比較で貼石関係は増加した。震災での石堀修理が今でもあるとのことで、住居の修理・修復を行う経済的余裕が出てきたことによる。また、石堀施工当時の業者がすでに廃業しているところも多く、現在も施工している数少ない業者に集中しているようだ。